

本資料は、生成AI（Copilot Cowork）を用いて作成した出力結果の試行例です。生成AIの性質上、内容に誤りや不正確な記載が含まれる場合があります。

京都府総合計画

概要版

計画期間 2021年度～2030年度（展望：おおむね2040年頃）



エグゼクティブサマリー

Executive Summary — 京都府総合計画の要点

01

将来像

「温もりの通う京都府」を掲げ、
府民一人ひとりの夢や希望が
京都府域全体で実現できる社会を目指す

02

3つの基本方向

「安心」「温もり」「ゆめ実現」の
3つの柱を基本方向に据え、
人口減少社会への対応を最優先で推進

03

府民協働

行政だけでなく府民・企業・NPO等
多様な主体が連携・協働し、
地域の特性を活かした取組を展開

KEY FIGURES

258万人

京都府人口（2020年）

29.4%

高齢化率（2020年）

1.22

合計特殊出生率

2040年

長期展望の目標年

計画策定の背景

Background — なぜ今、新たな総合計画が必要なのか

人口減少・少子高齢化

京都府の人口は2004年をピークに減少が続き、2040年には約224万人に。高齢化率は30%を超え、生産年齢人口の縮小が深刻化。

気候変動・自然災害

大規模自然災害の頻発化に加え、地球温暖化対策が世界的課題に。2050年カーボンニュートラルに向けた取組が急務。

デジタル社会の進展

AI・IoT・ビッグデータなどデジタル技術が急速に進展。行政・産業・暮らしのあらゆる分野でDXへの対応が不可欠に。

新型コロナの影響

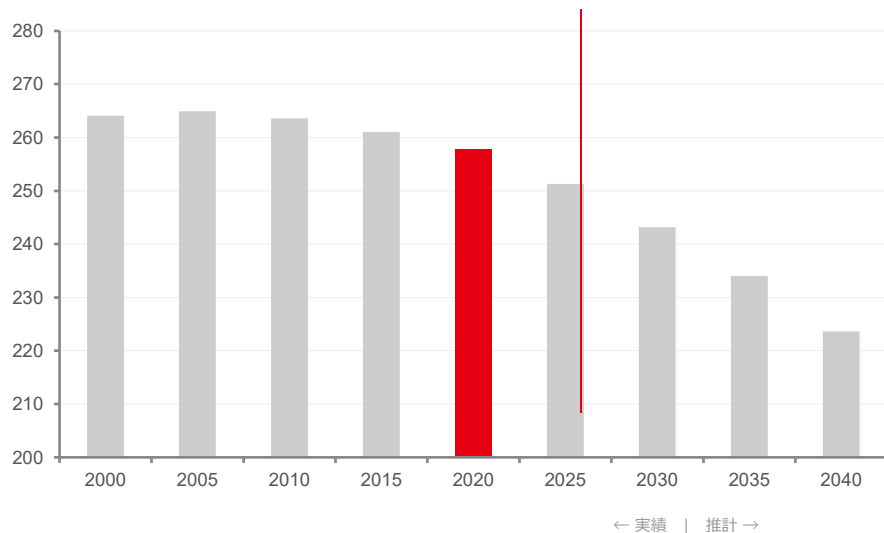
パンデミックにより暮らし・経済・社会活動が一変。新しい生活様式への対応と、地域社会のレジリエンス強化が求められる。

新たな計画の策定へ

京都府の現状

Current Status — 人口動態と社会構造の変化

京都府の人口推移と将来推計



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

主要指標

257.9万人

総人口（2020年）

ピーク比 ▲2.6%

29.4%

高齢化率（65歳以上）

2040年 約36%へ上昇見込み

1.22

合計特殊出生率

全国平均 1.33を下回る水準

▲7,000人/年

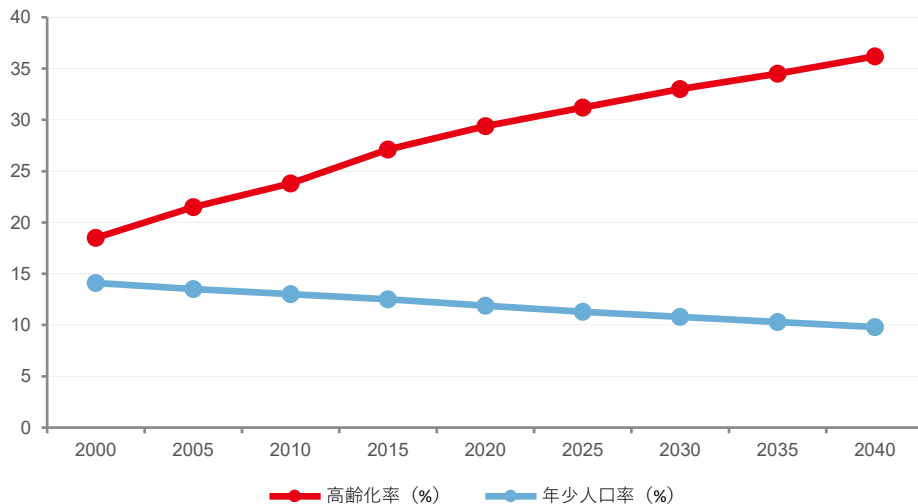
人口減少ペース

自然減・社会減が同時進行

社会構造の変化

Structural Changes — 高齢化の進展と地域課題

年齢構成比の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

地域への影響

- 1 労働力人口の縮小と産業の担い手不足
- 2 医療・介護需要の増大と社会保障費の膨張
- 3 地域コミュニティの希薄化と買い物弱者の増加
- 4 空き家の増加とインフラ維持コストの上昇
- 5 文化・伝統の継承者不足と地域活力の低下

温もりの通う京都府

一人ひとりの夢や希望が全ての京都府域で実現できる京都

人口減少や少子高齢化が進む中であっても、京都の持つ歴史・文化の厚み、多様な地域特性、大学・研究機関の集積などの強みを活かし、府民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし、夢や希望に挑戦できる社会を目指します。

安心

Safety

府民の命と暮らしを守り、
安心して住み続けられる京都

温もり

Community

人と人とのつながりを大切にし、
誰もが居場所のある京都

ゆめ実現

Aspiration

一人ひとりの夢と希望を応援し、
挑戦が花開く京都

計画の体系

Framework — 将来像を実現するための政策構造

将来像：「温もりの通う京都府」

安心の京都

防災・減災

医療・介護

子育て支援

食の安全

温もりの京都

共生社会

地域コミュニティ

文化・スポーツ

人権尊重

ゆめ実現の京都

産業振興

イノベーション

人材育成

観光振興

横断的施策 / DX推進 / カーボンニュートラル / 多様性・包摂性 / 広域連携

安心の京都

Safety & Security — 府民の命と暮らしを守る

防災・減災対策の強化

- 大規模災害に備えた防災インフラの整備
- 地域防災力の向上と避難体制の確立
- 災害情報伝達システムのデジタル化

子育て環境の整備

- 待機児童ゼロの継続と保育サービスの質向上
- 子どもの貧困対策と教育格差の是正
- 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

医療・介護体制の充実

- 地域医療構想に基づく医療提供体制の確保
- 在宅医療・介護の連携推進
- 感染症への対応力強化と公衆衛生体制の整備

食の安全と消費者保護

- 食品安全管理の徹底と地産地消の推進
- 消費者被害の未然防止と救済体制の充実

温もりの京都

Community & Connection — 人と人とのつながりを大切に

共生社会の実現

- 障害のある方の社会参加促進と支援体制の強化
- 多文化共生社会の推進と外国人住民への支援
- ジェンダー平等の推進と女性活躍の促進

文化・スポーツの振興

- 京都の歴史・文化資源の保存と活用
- 文化芸術活動への参加機会の拡充
- スポーツを通じた健康づくりと地域活性化

地域コミュニティの活性化

- 地域の支え合い・見守り活動の推進
- NPO・ボランティア活動の活性化支援
- 関係人口・交流人口の拡大と地域づくり

教育の充実

- 確かな学力と豊かな心を育む教育の推進
- 特別支援教育の充実と不登校対策
- 生涯学習社会の実現と学びの場の充実

ゆめ実現の京都

Dream & Innovation — 一人ひとりの挑戦を応援する

産業の振興と働き方改革

- 中小企業の経営力強化とスタートアップ支援
- 多様な働き方の実現とワークライフバランスの推進
- 農林水産業の成長産業化と担い手確保

観光・交流の推進

- 持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の推進
- 観光の高付加価値化と広域観光の展開
- 文化観光・体験型観光コンテンツの充実

イノベーションの創出

- 大学・研究機関と連携した研究開発の推進
- AI・IoT等先端技術の社会実装
- けいはんな学研都市を核としたイノベーション拠点形成

社会基盤の整備

- 交通ネットワークの充実と地域交通の確保
- 脱炭素社会に向けたエネルギー政策の推進
- 都市計画と居住環境の整備

数値目標・KPI

Key Performance Indicators — 計画の達成状況を測る主要指標

分野	指標	現状値（2020）	目標値（2030）
人口	合計特殊出生率	1.22	1.60
安心	防災訓練参加率	15.2%	30%以上
医療	健康寿命（男性）	72.71年	75年以上
子育て	待機児童数	0人	0人維持
経済	府内総生産成長率	0.8%	2.0%以上
観光	観光消費額	4,947億円	8,000億円
環境	温室効果ガス削減率	▲12.8%	▲46%以上
DX	行政手続オンライン化率	20%	80%以上

※ 現状値は2020年度時点。目標値は京都府総合計画に基づく。

計画の推進体制

Implementation — 総合計画を確実に実行するための仕組み



温もりの通う京都府の実現に向けて

府民一人ひとりの夢や希望が実現できる社会に向けて、
安心・温もり・ゆめ実現の3つの方向から、
京都府の持つ力を最大限に活かした取組を推進してまいります。



京都府総合計画 概要版

計画期間：2021年度～2030年度